渚にて（1959）

ON THE BEACH

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 135分
初公開日 1960/02/10
公開情報 ＵＡ

【解説】

米ソ冷戦下の真っ直中で製作された、核戦争後の放射能汚染の恐怖を淡々と描いたシュート原作の映画化。時は６４年。第三次世界大戦が勃発し、世界全土は核攻撃によって放射能汚染が広がり北半球はすでに全滅。僅かに残った南半球の一部地域に人々が暮らすだけになっていた。そんなある日、本国に帰港出来なくなったアメリカ原子力潜水艦がメルボルンに入港する。そこで艦長タワーズ（ペック）は美しい女性モイラ（ガードナー）に出会いしばしの休日を楽しむが、その地にも死の灰は確実に迫っていた。しかし生存の道を探る学者達の提案で、オーストラリア軍の若き大尉ホームズ（パーキンス）や学者のジュリアン（アステア）たちと共にタワーズは潜水艦で北極圏に汚染調査に出掛けて行く。しかしそこでも汚染レベルは依然高く、乗員達は落胆の色を隠せないまま帰路に着く。そして途中寄ったサンフランシスコではもっと悲惨な現状を直視（これが凄い！）し、メルボルンに帰港するのだが、彼等を待っていたものは最後の数十日と死への旅立ちだけになっていたのだった……。全編に渡って描かれた迫り来る死への不安と恐怖。その絶望的状況をちょっとしたエピソード（美しい海辺の描写がかえって悲しいシーンとなるなど）を使ってひしひしと伝え、中途半端に核戦争を扱った作品には到底及ぶことの出来ない悲壮感を衝撃映像なしに描き出した、まさに力作と呼べる作品。必見！

【クレジット】

監督	スタンリー・クレイマー	Stanley Kramer	
製作	スタンリー・クレイマー	Stanley Kramer	
原作	ネヴィル・シュート	Nevil Shute	
脚本	ジョン・パクストン	John Paxton	
	ジェームズ・リー・バレット	James Lee Barrett	
撮影	ジュゼッペ・ロトゥンノ	Giuseppe Rotunno	
	ダニエル・ファップ	Daniel Fapp	
音楽	アーネスト・ゴールド	Ernest Gold	
出演	グレゴリー・ペック	Gregory Peck	ドワイト・ライオネル・タワーズ艦長
	エヴァ・ガードナー	Ava Gardner	モイラ・デヴィッドソン
	フレッド・アステア	Fred Astaire	ジュリアン・オズボーン博士
	アンソニー・パーキンス	Anthony Perkins	ピーター・ホームズ大尉
	ドナ・アンダーソン	Donna Anderson	メアリー・ホームズ
	ジョン・テイト	John Tate	ブラディ提督
	ガイ・ドールマン	Guy Doleman	ファレル
	リチャード・メイクル	Richard Meikle	
	ジョン・メイロン	John Meillon	
	ローラ・ブルックス	Lola Brooks	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.